

元寇と神風

長沼, 賢海

<https://doi.org/10.15017/2344443>

出版情報 : 史淵. 4, pp.1-55, 1932-07-15. 九州帝国大学法文学部
バージョン :
権利関係 :

史淵第四輯正誤表

頁 行 正 誤

五	一	標題	弘安四年四月
七	一三	弘安四年四月	あつて、ともに
一〇	四	あつて、ともに	牽制
一三	二	牽制	乗換へて
同	一二	乗換へて	類従本
同	一六	類類本	元寇史蹟研究
一四	一二	元寇史蹟研究	海岸はいかに。
一八	一二	海岸はいかに。	類すべきものであらう。
三一	九	類すべきものであらう。	帝王編年記にあるが
四〇	四	帝王編年記にあるが	着京
四二	八	着京	思圓上人の八幡祈禱の
四六	三	思圓上人の八幡祈禱の	偉功を
五〇	一五	偉功を	考へなければならぬ。
五一	八	考へなければならぬ。	止泊
同	九	止泊	抵觸
同	一〇	抵觸	ことをより大
同	同	ことをより大	逃避せんとした
五三	一四	逃避せんとした	見るべく
五四	一六	見るべく	附けた
六二	八	附けた	燕稿の一部分の
六八	七	燕稿の一部分の	燕稿の一部分の
九	七	燕稿の一部分の	燕稿の一部分の

(桃蹊雑話) 卷ノ一所載

(桃溪雑話) 卷ノ一所載

頁 行 正 誤

六九	一	東。記	東見記
七四	一	豁然	豁然
七八	二	せしめてる	せしめてある
八二	二	破壊せば	破壊せば
八四	二	幽谷に	幽谷は
八五	四	二卷。著して	二卷を著して
八八	一五	願問	願問
八九	五	至らしむるの。第	至らしむるの次第
九七	三	のである	のである。
九九	五	繩絞。土器	繩絞土器
同	六	繩文。土器	繩紋土器
同	一六	繩絞式土器	繩絞式土器
一〇二	九	河内。府	河内國府
一〇六	九	合口瓮	合口甕
同	一	繩國府	國府
一一二	一六	見出さる	見出される
一一六	一四	中山先生言はれた如く	中山先生の言はれた如く
一二一	一〇	小型の精巧品	小型の精巧品
一二三	上段一六日	歴史	日本歴史
同	下段	一演講を御賜つた	御講演を賜つた
同	同	五風士記抄	風士記抄
一二六	下段一八	所爲然とに	所爲然に